

## 平成27年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール研究実施報告（第1年次）（概要）

1 研究開発課題	<p>Deep in Tokushima ～徳商版「地域創生」人材育成プロジェクト～</p>
2 研究の概要	<p>地域の産業を担い第一線で活躍できる専門的職業人を育成するため、またそのカリキュラムの開発研究のために、3つの人材育成を柱に事業を進めてきた。1年目は地域について深く知り、地域の魅力を創出できる人材の育成に重点を置き、各学科の特徴に合わせた授業を行った。商業科では「地域連携型イベントの企画・開催」、「地域連携型商品開発」、会計情報科では「BATIC」講習会の開催、情報処理科では地域の企業などに対する「Web作成支援」などを実施し、地域の魅力を創出できる人材等の育成に取り組んでいる。</p> <p>また、初年度は学校設定科目「観光ビジネス」のシラバスを研究し、来年度の開講に向けて準備を進めている。具体的には、日本でも最大の観光都市京都、沖縄との連携を開始した。特に沖縄水産高校との連携においては、8月に本校からの代表生徒が訪問し、9月には海洋技術科の生徒28名、1月には総合学科福祉コースの生徒6名が本校を訪問することにより、様々な「観光」をテーマとした交流を行った。京都との観光学習では、代表生徒が城陽市にある「たまご村」での販売実習を経験したり、京都宇治商工会議所の稲田氏より、宇治の観光戦略やお茶を中心とする町作りなどについて教えていただいた。2月には、稲田氏に來校いただき、商業科の2年生全体に対して講演いただく他、ワールドカフェ形式で意見交換を実施した。科目「商品開発」における研究を行い、企業と連携し、地域産品を活かした商品開発を行った。本年度、11月には、カンボジアから生徒を受入れ、開発商品を地元販売店において共同で販売した。その販売会場でスーパー・プロフェッショナル・ハイスクールの活動内容の中間報告に関するパネル展も実施した。また、年2回カンボジアを訪問し、現地で共同開発商品のマーケティング調査及び国際展示会への出展を行った。</p> <p>以下に初年度の主な活動内容を示す。</p> <p>(1) 地域コンサルタントの育成</p> <p>(商業科)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域企業と連携した商品開発を実施した。</li> <li>・地域企業と連携したイベントのプロデュースを実施した。</li> </ul> <p>(会計情報科)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財務諸表分析（今年度は自動車メーカー）を実施した。</li> </ul> <p>(情報処理科)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元企業8社に対するホームページの作成支援や広報の支援を実施した。</li> </ul> <p>(2) 観光ガイド・商品開発力を持った人材の育成</p> <p>(商業科)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光都市（京都・沖縄など）との交流から観光についてのノウハウを学んだ。</li> <li>・学校設定科目「観光ビジネス」の研究を行った。</li> </ul> <p>(全学科)</p>

- ・観光都市京都から講師を招き観光についての講演会を実施した。

### (3) Glocal プロデューサーの育成

(商業科) 国際的なコミュニケーション力を有する人材の育成

- ・カンボジアと共同で商品開発を実施した。
- ・カンボジアを訪問し、マーケティング調査や国際展示会への出展を行った。
- ・テレビ会議を活用した交流会を行った。
- ・Facebook、LINE など SNS を活用した交流を行った。

(会計情報科) 国際的な会計感覚を有する人材の育成

- ・B A T I C 講習会を実施した。

(情報処理科) 国際情報運用力を有する人材の育成

- ・外部講師による情報活用能力を高める講座を実施した。

### 3 平成27年度実施規模

全校生徒を対象に実施した。

### 4 研究内容

○研究計画（指定期間満了まで。5年指定校は5年次まで記載。）

第1年次	<p>事業の体制作り 生徒の動機付け            外部講師（観光）による講演会、パネルディスカッション            学校設定科目「観光ビジネス」の研究 地域企業のニーズの再確認            各機関の連携強化 事業の実施（必要な知識の習得）            第1年次意識調査・分析            施設の整備 カンボジアにおけるマーケティング調査            観光ツアーの開催（調査）            地域コンサルタントの輩出</p>
第2年次	<p>事業の実施（1年次の研究の実践）            学校設定科目「観光ビジネス」の開講            第1年次の研究成果を踏まえた事業の修正実施            学科間の活動内容の共有            カンボジア（海外）における販売実習            日本における海外の生徒（カンボジア・ドイツ）との共同販売            観光における魅力の創出            観光ツアーの開催（創出した魅力を盛り込んだ実践）            地域の魅力を創出し、プロデュースできる人材の輩出</p>
第3年次	<p>事業全般の検証と再実施 成果報告会の実施            成果の広報 グローカルプロデューサーの輩出            地域産業界が求める人材を育成するプログラムのモデル化の完成            報告書の作成と成果の普及</p>

○平成27年度の教育課程の内容（平成27年度教育課程表を含めること）

教育課程表：別紙参照

○具体的な研究事項・活動内容

3つの人材育成を柱に実施

(1) 地域コンサルタントの育成

- ・企業と連携し、徳商デパート（販売実習）において11社19品目の商品を開発

- ・地域の B 級素材を活用し商品開発
- ・地域経済団体依頼の映像作成
- ・グループで財務諸表分析（今年度は自動車メーカー）を行い発表会を実施
- ・地域企業のホームページ作成（今年度は 8 社）

(2) 観光ガイド・商品開発力を持った人材の育成

- ・京都市「たまご村」での販売実習と観光学習
- ・沖縄水産高校との観光学習と交流（8月・9月・1月）
- ・徳商デパートにおける小学生向けバスガイド体験の運営、実施
- ・学校設定科目「観光ビジネス」の研究
- ・観光甲子園の視察
- ・全国高等学校観光教育研究大会への参加
- ・観光取組先進校への取組内容の調査
- ・京都府宇治市商工会議所職員による講演会、ワールドカフェの実施（2月）
- ・沖縄における観光学習（原種を用いた商品開発 自然を活かした観光）
- ・シエムリアップにおける観光学習（地域都市の活かし方）（12月）

(3) Glocal プロデューサーの育成

- ・フジグラン石井（地元販売店）におけるカンボジアの生徒との共同販売イベントの実施（11月）
- ・第1回カンボジア訪問における海外マーケティング調査（7月）
- ・第2回カンボジア訪問における国際展示会参加、調査活動（12月）
- ・月1回程度のテレビ会議の実施
- ・Facebook、LINE など SNS を活用した交流の実施
- ・海外素材や特産物を活用しての商品開発の研究（カンボジア 3 品目 ドイツ 2 品目）

## 5 研究の成果と課題

### ○実施による効果とその評価

地域コンサルタントの育成については、多くの生徒が地域の企業と関わる機会が得られ、3 学科とも概ね計画通り実施することができた。地域のことをよく学び、地域の様々な問題に対して柔軟に対応しようと前向きに取り組めた。

観光ガイド・商品開発力を持った人材の育成については、今年度は研究の年となっており、来年度の授業開始に向け準備を行った。日本でも有数の観光都市である京都・沖縄から講師を招聘したり、交流を行うことにより、観光に関するノウハウを学ぶとともに、学校設定科目「観光ビジネス」開設に生かした。

Glocal プロデューサーの育成については、カンボジアとの商品開発や共同販売などを通して、国際的な視野や様々な人とのコミュニケーションが図れる能力を育成することができた。今後もテレビ会議や SNS などを活用し、海外との交流を積極的に進め、Glocal プロデューサーを育成していきたい。

### ○実施上の問題点と今後の課題

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクールの事業の目的や目標を、全教員が十分理解しているとは言えない部分もある。計画通りこの事業に対して取り組んでいることは間違いないが、取組に対する温度差が学科間、教員、生徒にあるように思われる。今後、学校全体に取組を普及させていくことが課題である。